

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2010年度第1回常任幹事会議事要録

日時：2010年4月23日（金）14時5分～16時35分

場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館

出席：愛知淑徳大学（武藤 まり子），中京大学（中河原 省三）

豊橋創造大学（中島 慶子），豊田工業大学（保富 洋子）

名古屋学院大学（中田 晴美），愛知大学（中村 直美）

金城学院大学（西尾 十和子），愛知学院大学（足立 祐輔）

名城大学（鷺見 恵美），南山大学（関谷 治代）

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（岸 恭一，守田 正江，八鳥 麻子）

敬称略

議事に先立ち、理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長（岸）の挨拶の後、今年度より新しく参加した出席者の自己紹介が行われた。なお、議事進行は理事校（岸）が担当し、下記の議題を協議した。

<1> 2010年度東海地区協議会総会について

- I. 理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より資料（p.1）に基づき総会議事進行について説明がなされた。なお、研究会及び図書館管理・運営実務責任者会議について、活動報告と記載されているが事業報告に変更することとなった。

II. [報告事項]

1. 2009年度東海地区協議会事業報告

理事校（守田）より資料（p.2～5）に基づき報告が行われた。

2. 2009年度東海地区協議会研究会事業報告

研究会運営委員会委員長校中京大学（中河原）より資料（p.6～10）に基づき報告が行われた。

3. 2009年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業報告

理事校（守田）より資料（p.11）に基づき報告が行われた。

4. 東海地区協議会ウェブサイト運用に係る申し合せについて

研究会運営委員会委員長校中京大学（中河原）より資料（p.12～15）に基づき報告が行われた。

5. 2009年度協会関連事項報告

（1）部会・協会関係および関連団体報告

理事校（守田）より資料（p.16～19）に基づき報告が行われた。

（2）2009年度委員会報告

1）協会賞審査委員会

理事校（守田）より資料（p.20）に基づき報告が行われた。

2）研究助成委員会

理事校（守田）より、資料（p. 20～21）に基づき報告が行われた。

3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員代理中村（愛知大学）より資料（p. 21～22）に基づき報告が行われた。

4) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員代理中河原（中京大学）より資料（p. 22～24）に基づき報告が行われた。

(3) 第71回（2010年度）私立大学図書館協会総会・研究大会

理事校（守田）より資料(p. 25)に基づき報告が行われた。

(4) 私立大学図書館協会2010年度西地区部会総会について

理事校（守田）より資料(p. 26)に基づき報告が行われた。

6. 新規加盟館および館名変更

理事校（守田）より資料(p. 16)に基づき報告が行われた。

### III. [協議事項]

1. 2009年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

理事校（守田）より資料（p. 27～29）に基づき、決算案について説明が行われた。併せて資料（p. 30～31）に基づき研究会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について担当校より説明が行われた後、監事校愛知淑徳大学（武藤）より決算案について本日4月23日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

2. 2010年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校（守田）より資料（p. 32）に基づき、東海地区協議会の事業計画について説明が行われ、承認された。

3. 2010年度東海地区協議会予算（案）

理事校（守田）により資料（p. 33～35）に基づき、予算案について説明が行われた。収入の部については、加盟会費・館灯広告掲載費・雑費が前年度予算とは金額が異なる。脱会校分については、総会での承認前のため予算には反映させていない。一方、支出の部については、今年度は図書館実務担当者研修会開催年のため、研究会支援費の予算額を前年度より20万円の増額とすることが説明された。南山大学（関谷）より、支出の部の「館灯」刊行費及び発行部数について前年度実績を反映させない理由について質問が出された。年度によりページ数の増減があり、今年度は実務担当者研修会開催年のため前年度よりページ増が見込まれるため前年度予算と同額としたと説明があり、承認された。また、部数も300部のままとすることとなった。

4. 2010年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）

研究会運営委員会委員長校中京大学（中河原）より資料（p. 36～37）に基づき、今年度の事業計画と予算案について説明があり承認された。なお、予算案については、今年度は図書館実務担当者研修会を行う予定のため、予算を20万円増額したと説明があった。

5. 2010年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算（案）

理事校（守田）より資料（p. 38）に基づき、今年度の事業計画と予算案について説明があり承認された。

6. 2010年度東海地区協議会役員校および委員校（案）

理事校（守田）より資料（p. 39）に基づき説明が行われ承認された。

7. 2011年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会役員校・当番校等（案）

理事校（岸）より資料（p. 40）に基づき修正箇所の説明が行われ、承認された。

8. その他

(1) 2011年度以降の私立大学図書館協会理事校、役員校、当番校について

理事校（岸）より、理事校ローテーション表の運用原則の変更点について説明が行われた。愛知大学（中村）の指摘により理事校ローテーション表に「(案)」をつけることとなった。名城大学（鷺見）より、名城大学が2017～2018年度の会長校となっている役員校ローテーション表（案）の順番について異議申し立てがあった。理事校（岸）より、会長校、部会長校の選出に関するこれまでの経緯が説明された。会長校・部会長校ローテーション表（案）は学生数8,001人以上の大学による会長校に関する話し合いによって定められたものである。ただし、それに伴い理事校ローテーション表の運用原則を変更する必要性が生じた。今回ローテーション表を（案）としたのは、運用原則を変更したためである。委員より会長校、部会長校の選出について、今後の対応等に関する各種意見が出された。また、理事校（岸）より、名城大学附属図書館長の依頼により作成した役員校の選出基準についての申合せ（案）について説明があった。名城大学（鷺見）より現行の役員校ローテーション表（案）をそのまま認めることが出来ないため、一度大学に持ち帰った上で検討したいと発言があり、代案を含め名城大学が検討することとなった。

以上